

科目名 Course Name	子どもの健康と安全 Child Health and Safety				ナンバリング No.	K2-008	
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	長谷川久美子						
連絡方法	講義棟 1F 非常勤講師室あるいはC-Learning で対応						
必修/選択	必修						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもを取り巻く環境の変化に対応し、保健的観点から子どもの健康と安全を守るための実践力を身につける。</p> <p>① 保健的対応の基本的な考え方を説明することができるようにする。                  ② 保育施設や職員の衛生管理の重要性について述べるができるようにする。                  ③ 体調不良および緊急を要する状況において適切な対応ができるようにする。                  ④ 感染対策の基本を学び感染症集団発生の予防ができるようにする。                  ⑤ 子どもの事故防止と安全対策について具体的に説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	<p>レジュメ、プリント資料を活用する。授業の中にトピックスや事例紹介を含め講義と演習により進める。演習時に配布するプリントを活用し、グループワークを通して演習目的を確認しながら体験的な学びを深化させる。</p> <p>『ほけんだより』を作成し提出する。</p>						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①子どもの健康と保育施設の環境について説明することができる。                  ②保育者自身の健康管理について具体策を挙げて説明することができる。                  ③子どもの体調不良や緊急を要する状況への対処方法について説明することができる。                  ④感染症対策の基本的な知識を活かし実践することができる。                  ⑤演習を通して体験的な学びが深化し、自信につなげることができる。</p>					
	L04						
課題に対するフィードバック	<p>15 回目の試験実施後に、授業の中で解説を加え模範解答を示す。                  課題や演習レポートは、コメントを加えて返却し授業の中でフィードバックする。</p>						
教科書/参考図書	<p>教科書:「子どもの健康と安全」学建書院、母子健康手帳                  参考図書・参考資料:授業の中で適宜指示する。必要に応じてプリント資料を配布する。</p>						
履修上の留意点やルール等	<p>テキスト、レジュメ、プリント資料等の教材を必ず準備して授業に臨む。                  事前・事後学習に費やす時間は各回 180 分を目安とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	必要な教材を必ず準備し、積極的に発言する。			10	
レポート/作品	出題者の意図した内容に沿って課題要件を満たしている。 課題作品は工夫点がみられ提出期限を厳守する。			40	
発表					
小テスト					
試験	設問の意図に沿った的確な解答ができています。			50	
その他					
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って概要説明、学習への取り組み)
	事前・事後学習	「保育所保育指針解説」内容を読んでおく。
2	授業内容	健康および安全の管理①—保健的観点を踏まえた保育環境 施設の衛生管理
	事前・事後学習	ユニセフの衛生活動について
3	授業内容	健康および安全の管理②—職員の衛生管理 *保育者自身の健康管理
	事前・事後学習	関連するガイドラインを調べる。
4	授業内容	<演習> 子どもの発育発達評価 —体格指数の計算 パーセンタイル曲線の記入
	事前・事後学習	「子どもの保健」復習—発育評価の方法を復習
5	授業内容	健康および安全の管理③—子どもの事故の現状と特徴
	事前・事後学習	事故事例(ヒヤリハット・死亡例)—テキストの資料編参照
6	授業内容	健康および安全管理の実施体制—保健活動計画 グループワーク
	事前・事後学習	「ほけんだより」の 作成準備—資料の収集
7	授業内容	子どもの体調不良等に対する適切な対応①—体調不良時の対応
	事前・事後学習	医療機関の受診と薬について
8	授業内容	子どもの体調不良等に対する適切な対応②—緊急を要する状況への対処方法
	事前・事後学習	応急手当について
9	授業内容	<演習> 緊急を要する状況への対処方法—エピペンの使い方
	事前・事後学習	「子どもの保健」復習—アレルギー疾患
10	授業内容	子どもの体調不良等に対する適切な対応③—救命手当および救急蘇生法
	事前・事後学習	心肺蘇生法(特に子どもの心肺蘇生の方法について)
11	授業内容	感染症対策①—感染症集団発生の予防
	事前・事後学習	感染症対策ガイドライン
12	授業内容	感染症対策の基本—微生物と生体抵抗力のバランス 予防接種
	事前・事後学習	「子どもの保健」復習—免疫のしくみ
13	授業内容	感染症対策②—感染症発生時と罹患後の対応 日常の感染対策グループワーク
	事前・事後学習	「子どもの保健」復習—子どもによく見られる感染症
14	授業内容	保育における保健的対応—個別的な配慮を要する子どもへの対応
	事前・事後学習	医療的ケア児について調べる。
15	授業内容	確認テスト 感染症対策③—疾病の支援体制 (16) 確認テストの振り返り
	事前・事後学習	重要ポイントの確認とふり返し